

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第 2 区)

新潟県選挙管理委員会

8期23年のチカラ

菊田まきこ プロフィール

三条市在住。
【趣味】散歩、料理、大相撲観戦
【尊敬する人】マザーテレサ、田中角栄
【座右の銘】泰然自若

1969年10月24日生まれ(加茂市出身)
1988年 新潟県立加茂高校卒業(バレー部主将)、中国黒竜江大学留学(2年間)
1995年 加茂市議会議員に全国最年少(25歳)で初当選
2003年 衆議院新潟4区から初当選(以来8期連続当選)

●外務大臣政務官 ●衆院沖縄北方問題特別委員会委員長 ●衆院懲罰委員会委員長
【立憲民主党】 ●代議士会長 ●「次の内閣」文部科学大臣 ●執行役員会メンバー ●常任幹事会議長などを歴任

現在の役職／中道改革連合副代表

X (旧 Twitter) Instagram ホームページ



✕ @kikuta_official
@ kikuta_makiko
📌 https://kikuta-makiko.net

菊田まきこ 事務所

TEL. 0256-40-9119
〒959-1289 燕市東太田6837
E-Mail. info@kikuta-makiko.net

菊田まきこ 10の約束



新潟市西区の液化化等、復興支援。防災・減災、インフラ更新、気候変動対策。



憲法の平和主義に基づく専守防衛と非核三原則を堅持。防衛増税に反対。



再生可能エネルギーの最大化、原発に依存しない社会を目指す。柏崎刈羽原発の再稼働は実効性のある避難経路等、確実な安全性を求める。



県民の悲願、拉致問題の解決を政府の最優先課題に。日朝首脳会談の実現を求める。



物価高に見合う年金で、老後の安心を守る。一人暮らし高齢者の見守り強化。



医療・介護・保育の経営を支え、賃上げや人手不足等、現場の処遇を改善。



教育の無償化拡大と質の向上。教育格差の是正、教員の長時間労働の是正。



農業予算を増やし、戸別所得補償制度で農家を支え、持続可能な農業へ。



裏金問題の一扫と議員定数の適正化、政治資金の規制強化で政治の信頼回復。



食料品の消費税ゼロ、社会保険料等負担の低減。賃上げと中小企業支援の拡充。

分断と対立が世界を覆い、戦争が続発する国際情勢のなかで、わが国日本でも勇ましい言葉がもてはやされ、「日本人ファースト」や排外主義が声高に言われるようになりました。

多くの犠牲を払ったあの戦争から得た教訓は、なんだったのでしょうか。日本は平和憲法を大切にし、非核三原則を堅持し、世界中から信頼を得てきました。今、その流れを大きく断ち切ろうとする政治が行われようとしています。

そして、なぜ今、解散総選挙なのか。高市総理も、結局は自己保身、党利党略しか考えていないのです。雪国の大変さもわからず、国民の税金を使った身勝手な権力濫用は許せません。

今日も、新潟の子どもたちは厳しい寒さに耐えながら、一步一步雪道を踏みしめて歩いています。我慢強く、粘り強く、懸命に生きる子どもたち、若い人たちに、私は希望あふれる日本をつなぎたいと強く思うのです。

信頼でさる政治



中道改革連合公認・連合新潟推薦

菊田まきこ



ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする の柱 ～経済・産業・移民～

- 1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。
- 3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 4 **食は人の天なり**
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。
- 5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む の柱 ～教育・人づくり・国家観～

- 7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。
- 8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正當に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさで平和を守ります。

比例は **参政党** とお書きください。

参政党の政策は ▶
こちらの特設サイトから！



平井えりこ プロフィール 「やさしさと強さの政治を！」
1978年生まれ。47歳。新潟県新発田市出身。三条市在住。
新潟職業能力開発短期大学校卒業。金融機関勤務。
長男、次男と同居。シングルマザー。趣味は建物探訪。



ひらい
平井えりこ
参政党公認

投票日 2月8日(日)

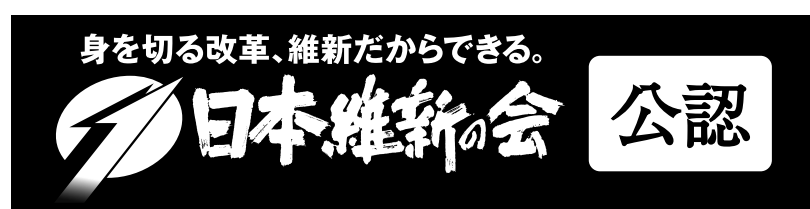


令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第 2 区)

新潟県選挙管理委員会



これまで
**なぜ政治は
動かなかったのか。**

停滞は退化であり、限界だ。
覚悟をもって突きつけた「12本の矢」を
新総理は受け取った。
維新が連立に加わった。
それにより長年の課題が動き出した。
政治に変化が起きた。
これからも待ったなしのスピード感で、
政策を次々と実現していく。
実感と結果を届けていく。

さあ、もっと動かすぞ、維新が。

維新が動かす**3つの改革**

維新は **政策実現政党** である。

ダブルエンジンとなり、しがらみや大きな政党すらも動かしていく。

経済を動かす 日々の家計を支え、経済を動かしていく。

政治を動かす 約30年停滞しきっていた政治を動かしていく。

日本を動かす 日本列島を守り、秩序ある外国人政策を動かしていく。



かない
金井のりこ



高市政権は責任ある積極財政を旗印に掲げ、
この愚直なプロセスの挑戦を続けておろす。
私国定勇人もこの高市政権を支え一員として、
この地に尽くしていきます！

この地に
尽くす！



自民党公認
国定勇人

高市総理と共に取り組むべきこと

- 1 物価高対策の充実、強化
- 2 経済安全保障の下、中小企業支援、重点投資分野への大胆なシフト
- 3 食糧安全保障の下、農業基盤の維持強化、生産設備支援
- 4 医療・介護基盤の維持強化
- 5 国土強靱化の下、社会インフラの整備・維持

PROFILE

国定勇人 1972年8月30日生 53歳
平成 9年 3月 一橋大学商学部卒業
平成 9年 4月 旧郵政省入省
平成 15年 4月 三条市総務部参事 兼 情報政策課長
平成 18年 10月 総務省退職
平成 18年 11月 三条市長初当選
令和 2年 10月 まで4期14年に渡り三条市長を務める
令和 3年 10月 衆議院議員選挙にて初当選
令和 4年 8月 環境大臣政務官就任
令和 5年 9月 環境大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官 就任
令和 6年 10月 衆議院選挙にて二期目の当選
令和 6年 11月 国土交通大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官 兼 復興大臣政務官就任
令和 7年 4月 「トランプ関税」対策の担当政務官を追加で拝命



YouTube



ウェブサイト



TikTok



LINE@

投票日 2月8日(日)

